

道路事業の取組事例③

重点戦略Ⅳ 安心して豊かさが実感できる地域の創造

持続可能な中山間地域等形成プログラム

☀️ 生き生き指標

地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数 353箇所 → 550箇所

☀️ 重点施策

■ 地域の生活を支える道づくり

中山間地域等の生活の中心となる拠点的地域の機能強化や集落機能の維持・強化に取り組む地域を支援するため、「おかやまスタンダード」による、効果的・効率的な道路整備を推進し、すれ違いが困難な箇所や見通しの悪い箇所を計画的に改善します。

また、道の駅が、地域資源を生かし、観光客を呼び込む観光拠点としての役割に加え、防災拠点としての機能を継続的・発展的に発揮できるよう、市町村と連携し、機能強化に取り組めます。

交通難所の改善の事例

県道 栃原久米南線(美咲町和田北地内)



【改善前】



【改善後】

県道 馬形美作線(美作市馬形地内)



【改善前】



【改善後】

県道 湯原奥津線(真庭市社地内)



【改善前】



【改善後】

おかやまスタンダードイメージ図



生きがい・元気づくり支援プログラム

☀️ 推進施策

■ さまざまな分野におけるボランティア活動等の支援

道路や河川などへの愛着心を深め、マナー向上が図られるよう、地域住民や企業等によるアダプト活動(清掃美化活動)を支援します。

おかやまアダプト活動状況



解説: おかやまアダプト

自治体と住民・企業が手を取り合って、美しく快適な生活環境をつくっていく事業です。道路や河川など一定区間が、地域住民や企業からなる活動団体に、愛情と責任を持って清掃美化されることから、「アダプト(養子にする)」に例えられます。

